



学生が作成した
スピーチ比較の例



比較するリーダー



アンゲラ・メルケル
ドイツ首相（元科学者）



鈴木典比古
国際教養大学 学長



グレタ・トゥーンベリ
環境活動家

メルケル

スピーチした日：2020年4月16日

スピーチの相手：ドイツの住民、報道関係者 (news media)

スピーチの概要：コロナの現状を正確に説明しています。

動画リンク：<https://youtu.be/22SQVZ4CeXA>



メルケル

スピーチの内容 :

- コロナに関連するスピーチ
- scientific evidence をベースにした説明
- Background knowledge (予備知識) を使い、コロナの現状を正確に説明した

英語 Script: "If we get to the point where everybody infects 1.1 people, then by October our healthcare system will reach capacity with the assumed number of intensive care beds. If we get to 1.2 people, so everyone is infecting 20 percent more. Out of 5 people, one infects two and the rest one, then we will reach the limit of our healthcare system in July. And if it's up to 1.3 people, then in June we will reach the limits of our healthcare system. So you can see how little room we have to work with,"



メルケル

言い方、表現方法：

Gesture: シンプル

Dialect/accent：ありませんでしたが、クリーン話し方でした。

- Polite, not casual ドイツ語の～さんを使っています
- I think や I guess とか全然使いませんでした

= 現実的、中性的、Rational、Reasonable (ドイツ人ぽい)



メルケル

どういうリーダー像/Self-Imageを作りたい？

元科学者： 定量的(quantitatively)な情報に基づいた話し方 (speech based on research)

- 信頼(trustworthy)できる話し方
- 頭良さそう(Self-image)

それはうまくいったか？

- メルケルの作りたいself-imageはこの動画で十分に国民に伝わった。
⇒成功しているといえる。

鈴木典比古



スピーチした日 : 2020年3月31日

スピーチの相手 : 学長メッセージとして在学生、新入生、留学生及びその保護者へ

スピーチの概要 : コロナの影響により、春学期の全授業をオンラインとすることについて
動画メッセージを公表した

動画リンク : https://youtu.be/AZGiNYs5_1M

鈴木典比古



スピーチの内容：

- ①新型コロナウイルスの影響により、春学期の全授業をオンライン授業にする決断を下した。
- ②この決断をした経緯

スピーチの特徴：

- ・丁寧な言葉づかいではあるが、日本の安倍首相と比較するとカジュアル
- ・表情やアクセント、ジェスチャーがほとんどなく、感情表現が乏しい
- ・台本を読んでいるような印象
- ・学生の立場に寄りそう、というよりも事実を述べて理解させるようなスピーチ
- ・同日に卒業生に向けてのメッセージを公表しているが、それは英語でスピーチしている

鈴木典比古



どういうリーダー像/Self-Imageを作りたいと思っているか

AIU Spiritの体現者 (Embodiment)

⇒困難に敢然と立ち向かい、それを糧に大きく人間的に成長する、そしてその困難を仲間たちと共に乗り越える精神 (スピーチより)

それはうまくいったか

⇒うまくいっていないように感じた

・感情的というよりも論理的なスピーチ内容だった

→説得力という点では○、ただしAIU Spiritの体現者という点では△or×

・表情やアクセントが乏しく、スピーチから熱を感じられなかった (棒読み感)

→自分の言葉で話していないようにも感じ取れた

→もう少し表情やジェスチャーに富むスピーチの方が、AIU Spiritの体現者としてのイメージに合う気がする

グレタ・トゥーンベリ

スピーチした日 : 2019年9月23日

スピーチの相手 : 国連の地球温暖化サミットにて、各国代表に向けて

スピーチの概要 : 気候変動(climate change)への取り組みを要請するもの

動画リンク : <https://www.youtube.com/watch?v=JEcSrgGA2Lw&vl=ja>



グレタ・トゥーンベリ



スピーチの内容：

- ①科学的根拠をもとにした環境問題について
- ②環境問題に取り組んで来なかった大人たちへの批判

スピーチの特徴：

- ・ダイレクトかつ断定的なスピーチ：「change **is** coming」 「crystal clear」
「**How dare you**」 「should, want」
- ・わかりやすく、表現もカジュアル：「us, young people」言い換え
- ・感情的な表現：イントネーション、文末が全て（！）のような話し方、涙目や睨むなどの表情

グレタ・トゥーンベリ



どういうリーダー像/Self-Imageを作りたいと思っているか
怒れる若者たちの代表

それはうまくいったか

⇒必ずしもうまくいったという訳ではなさそう

・ 共感する若者が世界中に

→世界中の若者が、支持した点では○

・ 彼女の年齢と行動のギャップに怖い、大人に操作されている という印象を受ける

→スピーチの内容、行動が13歳に見えない

→操作されているのでは？という意見もネット上で目立つ

比較するリーダー



アンゲラ・メルケル
ドイツ首相（元科学者）



鈴木典比古
国際教養大学 学長



グレタ・トゥーンベリ
環境活動家

★ありがとうございました★

